
現実逃避

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

現実逃避

【Nコード】

N17630

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

僕が死にたくなって死のうとして…

(前書き)

鬱病を理解して下さい。皆さん、鬱病はれっきとした病気です。

気が付いたら、がむしゃらに自転車を漕いでた。
気が付いたら、住んでた町が遠くに見えた。

遠くに行きたかった。

どこまでも遠くに行きたかった。

だから自転車を漕いだ。

だから無我夢中で自転車を漕いだ。

知らない所に行きたいのに…。

自分を知っている人が、誰もいない所へ行きたいのに…。

気が付いたら、生まれた町だった。

気が付いたら、生まれた町で泣いていた。

自転車漕ぎながら泣いていた。

悲しくなんて無かった。

痛いところなんて無かった。

苦しかった。

息苦しくて、心が苦しかった。

この苦しみから解放してほしかった。

この苦しみを癒してほしかった。

僕は死を選んだ。

僕は死を選んでしまった。

誰も知らない所へ行くために、死を選んだ。
ただ…苦しみから解放してほしかった…だけ…。

目を開けたら病院のベッドの上だった。

僕はまた泣いた。

死ねなかった事に泣いた。

生きている事に泣いた。

僕の為に涙を流してくれる人に泣いた。

いつかまた、死への逃避を行わないように、誰かに僕の為に涙を流させないように、僕は薬を飲んでいく。

薬を飲み続けている。

(後書き)

あの頃は本当にしんどかった。死ねない。殺してくれない。で、しんどかった。

そして鬱は続いている。いつ治るかもわからずに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1763o/>

現実逃避

2010年10月10日17時50分発行